



異例の長梅雨の中で九州などの豪雨の被害は年々ひどくなっています。その後は、来年のオリンピックは平気だろうかと懸念するほど気温が高くなっていますが、平均気温が25度くらい、ヨーロッパでも40度以上となつてクーラーのない社会が混乱しています。地球温暖化は、単に温暖になるといっても、暑くなり異常気象が増大することです。

若い時はアウトドアスポーツの指導者をしていましたが、標語は「備えあれ」でした。地震や火山噴火、そして台風や豪雨災害などに対して、備えをしています。東日本大震災の時は、電気が通じなかつたので、非常電源を使って院長のPCだけを起動し、診察費は後日に精算としました。支援活動にも私自身が物資を持って駆け付けていました。現在は、非常用バッテリーと発電機を備え、水や食料や災害トイレも用意しています。

ただ、多くの方々が「備え無し」であることが気が掛かります。また、「災害時に避難所に集まる」ということも、都市部では却って困難になるのではと心配します。それは他の人に助けられることを前提としているからです。世界的にも、歴史的にも、自分と家族は自分たちで守るのが当然であり、最善です。助け支援する側にとつても、「備え無し」の人々は、失礼ながら手間が掛かります。3日間は自衛自活できる備えを皆がすると、支援・救済は怪我や病気の人に重点を置くことができます。ところが、備えのない人は、当初から助けを必要とし、支援要請が多くなるので、支援を待っている間に体調を壊してしまうのです。

私がお勧めしたいのは、お住まいから2時間以内の所に中古住宅を買うことです。房総では庭付きの家が500万円から1000万円で購入できます。但し、畑作業をする気持ちがないといけません。先日、園芸用品を買っている男性と話をしたら92歳だそうです。顔はツヤツヤ、身体は壮健、充実している様子がわかりました。私自身は長柄の施設を15名程が3ヵ月は避難できるように整えています。土木、建築、園芸など力仕事を5年もやっていると、筋肉マッチョになってきて医療機関の事務長らしくなくなってきました。脂肪も取れ、身体も元気になってきて、スポーツクラブなど行く必要がなくなりました。院長も、雑草を抜いたり、採集をしたりで楽しんでます。今年もブルーベリーが10キロ以上は採れます。既に3キロはジャムにしました。お金を残しても、気力が残らないと老後は難しいと思います。如何でしょうか。

事務長 柏崎久雄

感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いに協力ください。

★ 入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押して下さい。

★ 待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

★ 会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

ヨーゼフのキャンペーン

(8月9日(金)午前まで)

ヌクレオB群、イストケイツ、イストルB3、イストB12・葉酸

聖書を読む会

8月20日(火)午後1時40分～2時
当院待合室にて行います。

* 8月8日(木)～15日(木) 夏季休業です。

* 院長著『新・低血糖症と精神疾患治療の手引』の新版が販売中です。(定価2160円)。全面改訂して分かり易くなっております。

* 栄養指導を前日までにご連絡がなくキャンセルした場合、2160円のキャンセル料が掛かります。また、予約枠と予約時間が一部変更となっております。ご注意ください。

* 病児保育のご利用には施設ごとの事前登録が必要です。書類を事前記入の上、お時間に余裕をもってご来所下さい。事前登録の対応は、平日8時半～11時・15時～16時(土曜日は事前に要連絡)です。書類は、ノアホームページからのダウンロードか、当院1階受付で配布しています。

* 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、市町村から発行のクーポン券で風疹抗体検査が無料で受けられます。クーポン券をご持参の上、受付時間内にご来院下さい。

* ㈱ヨーゼフの営業時間も午前10時～12時半、午後3時～5時半(土曜3時～4時半)に変更しています。ご注意ください。

* 受付時間が変更されているので、ご注意ください。火曜日の予約診療、オンライン診療を始めていますので、ご確認ください。予約診療については、しばらくは当日来院診療と併用します。

《 キャッシュレス決済の実態と注意点 》

Pay ペイ、Line ペイ、楽天ペイ、Amazon ペイ、ゆうちょペイ、ファミペイ、セブンペイ、など次々に出来てきました。なんでこんなに割引するのだろうか、なんで T ポイント、D ポイントカード、Ponta カードなどは買うだけでポイントが貯まるのだろうか、と不思議に思うことでしょう。これらのものはキャッシュレス決済としてまとめることができます。今月は、このようなものを説明し、その注意点を挙げてみたいと思います。

1. キャッシュレス決済とは

キャッシュレス決済とは以下のものを含みます。区分の仕方はいろいろありますが、専門的区分よりも、使い方と利用者の認識の違いを重視して分けてみます。

a. 預金振替

振り込み、引き落としなど、銀行預金に基づいた決済の仕組み。

b. クレジットカード

銀行口座からまとめて翌月などに引き落とされる。審査や本人確認が必要なので ID カードとしても用いられる。ゴールドカードやプラチナカードは、信用やステイタスを表すものとして更に審査がなければ取得できない。加盟店が 3%前後の手数料を支払うが業種によって 1%から 10%くらいまで変動する。

※ ブラックリスト…ローンやクレジットカードの支払い延滞によって、1年から5年の間、信用がなくなる。自己破産をした場合には5年から10年の間も信用がなくなり、クレジットカード・ローン・ETC カードなどが使えなくなる。

c. デビットカード

銀行などが発行し、利用すると即時に銀行口座から引き落とされる。預金額以上は使えない。審査が要らないので銀行口座があれば持てる。但し、他の国では銀行口座を持つことが難しいこともある。

d. 電子マネー

カードを専用機械にかざすだけで支払いが済む。企業や団体が独自に発行し、カードやスマホなどにチャージして使う。チャージ方法は現金、預金、クレジットカードなど。少額支払用が殆ど。審査が不要。例、Suica、nanaco、Waon、Edy、QUO カードなど。

e. ポイントカード

商品を購入すると貯まるポイントも多額なものになる傾向にあり、加盟店では電子マネーのように利用される。例、T ポイントカード、D ポイントカード、Ponta カード、楽天ポイントカード、会社毎にもある。ポイントカードは、顧客情報の入手や商品管理、営業企画などにも用いられ、情報が経済価値を持つ顕著な例となっている。顧客の囲い込み戦略にも用いられる。

f. スマホ決済

スマホ決済は、店舗の QR コードをスマホで読み取ることによって決済する。PayPay、Line ペイ、楽天ペイ、Amazon ペイ、ゆうちょペイ、ファミペイ、など次々に出来てきた。導入が容易であり、安価であるので、最近急激に増えている。

※ クレジットカードや電子マネーを登録したスマホを店舗の端末にかざすだけで決済する suica のような非接触 IC 決済があるが、これは〇〇ペイとは言わない。利用者には非接触 IC 決済のほうが簡単であるが、QR コード決済は、中国では物乞いも利用しているほど導入・利用コストが安い。

g. 仮想通貨

円やドルなどの法定通貨ではない。インターネット上で不特定多数の間で物品やサービスの対価として使用され、電子データのみでやりとりされる通貨。中央銀行などの公的発行主体や管理者が存在せず、専門の取引所を介して法定通貨と交換できる。ビットコイン (BTC)、リップル (XRP)、など。

h. 電子通貨

中央銀行が発行するデジタル形式の法定通貨。現在は研究段階。

2. キャッシュレス決済の利点

a. 利用者にとって

- 現金を持ち歩く必要がなく、預金の引き出しの手間がなく、安全でもある。
- 利用履歴が残る。
- クレジットカードなどのポイントが貯まる。
- 資金がなくても、支払いが翌月かボーナス払いで後払いになるので、購入が容易にできる。
- 利用額の蓄積、高額化によりメリットが重なってくる。

b. 加盟店にとって

手数料の分だけ現金決済よりも利益が減少するが、以下の利点があり、売上が増加する。

- 所持金の足りない消費者の「売り逃し」を減らせる。
- クレジットカードだと、余分な買い物をする消費者が多い。
- 現金客よりもクレジットカード利用客の方が、平均購買単価が高い。
- 現金決済には、釣銭の必要性や強盗の危険性がある。

c. 情報が供与された団体（チェーンストア、運営会社、情報管理会社）にとって

- ポイントカードなどによって顧客情報が得られ、製品開発・営業企画・経営戦略などに役立つ。この価値は、現代では非常に価値あるものと認識されている。
- ネットやメールを用いた営業宣伝などができる。
- ポイント制によって顧客を囲い込むことができる。
- 膨大な資金を管理運用することができるようになり、損益が巨額なものとなる。

d. 市民、社会にとって

- 銀行やATMの整備が十分でなく、現金の入手が困難な社会でも売買が容易になる。
- 両替費用が軽減し、送金なども容易になる。
- 顧客から得られた情報によって商品開発やセール情報が流通する。

e. 政府にとって

- 強盗や盗みなど現金受け渡しに関わる犯罪が少なくなり、治安が良くなる。
- ブラック企業の資金洗浄の流れを確認しやすい。
- 脱税、脱法行為を抑えることができる。
- 経済統制、違法難民問題に力を行使しやすい。

3. キャッシュレス決済の欠点・危険性

a. 利用者にとって

- 購入が高額になる場合がある。
- 個人情報が出る。
- 充電切れのスマホで決済できない、ネットが地域的に切断された時に売買ができない。
- カードやスマホを盗まれて、他の人に使われる可能性がある。
- チャージした金額は元に戻せず、使うしかない。
- カードタイプのもは、磁気によってデータが破損し、使えなくなることがある。

b. 加盟店にとって

- 手数料が掛かる。
- 入金が遅れる。
- 決済・入金手続きに慣れていないと不安である。
- インターネット決済の場合、銀行振込には入金を確認したり代金に間違い（多いときには返還／少ないときには再請求）があったりするので、手間が掛かる。

c. 情報が供与された団体（チェーンストア、運営会社、情報管理会社）にとって

- システム管理や情報管理に多額の費用が掛かる。
- システム管理がセキュリティー対策を含めて費用が掛かる。
- 未回収の場合の回収手続きに手間が掛かる。

d. 市民・社会にとって

- 銀行口座やスマホを持ってない、持たない人々にとって生活が困難になる。
- 難民や生活困窮者などを排除することに用いられる。
- 富者と貧者の意図的分別ができ、その生活の質も大きな差が出てくる。
- 個人情報操作が容易になる。
- 専制国家による経済統制や個人毎の決済制限などができるようになる。

e. 政府

- 金融の規模が拡大し、管理運営が巨大化し、不正やミスによる損害額が多くなる。
- 資金の流れが国際的になり、ブラック企業などの国境を越えた資金操作が容易になる。
- サイバー攻撃や大規模停電などにより、国家的な金融災害が起こることが予想される。
- 国家の政治や政策が、金融的な事情に左右されることが予想される。

4. キャッシュレス導入の傾向

a. 国際比較

日本はキャッシュレス率が非常に低いのですが、キャッシュレス率が高い国にはいろいろな状況があります。ケニアでは、給与を電子マネーなどで受け取りますが、銀行やATMが不足しており、現金が十分に行き渡っていないことも理由です。北欧諸国は、デビットカードの機能がスマートフォンに搭載されたモバイルペイメントが普及しています。税や社会福祉費用が高く、合理性が求められると共に、セキュリティや治安を良くするという意識の中で現金を扱う銀行さえ減っています。

アリペイやウィーチャットペイが普及する中国、クレジットカードの決済比率の高い韓国もキャッシュレス率の高い国です。これらの国では、現金流通によるコストや危険性が減っているのは事実ですが、使い過ぎによる害や貧富の差が大きくなっているなどの特徴が見られます。

途上国では現金で給与を受け取っている人の割合が比較的高く、スコアを押し下げています。逆にケニアは最もキャッシュレス決済が進んだ国ですが、銀行やATMが極端に少なく、現金の入手が困難という状況もあります。外国へ出稼ぎが多い国では、両替費用の安いキャッシュレス決済が多く用いられています。

b. キャッシュレス決済の今後

セブンペイが2019/7/1に利用開始後すぐに不正アクセスがあり、利用者の被害が3日間で807人となり、その決済を9月でやめることになりました。仮想通貨も不正アクセスにより数百億円が盗まれました。投機や犯罪にも用いられています。安全性から言えば、〇〇ペイなどのスマホ決済や仮想通貨は使わない方が良いでしょう。ただ、中国では、スマホ決済無しには売買ができない状態になっており、これが共産主義という独裁政権の管理手段として強固に用いられていることは、今後のキャッシュレス決済の危険性として考慮しなければなりません。ヨーロッパでも、難民や貧しい人に対する排斥や差別化に用いられるとして警告されています。確かに、スマートフォンで電子マネーなどを使っている人々と、デバイスを持っておらずインターネットへのアクセスが困難で現金中心の生活を送っている人々とに二分化されています。貨幣や硬貨を作製し、管理維持する費用は日本でも膨大な額になり、その経費節約としてキャッシュレス決済の利便性が謳われていますが、平和な暮らしを脅かす可能性があることは否めません。

《診療時間》(2月から下線部変更)

月曜～金曜 (午前8時30分～11時30分、午後2時～5時10分)

土曜 (午前8時30分～11時30分、午後2時～4時半)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- 各種健康保険取扱機関
- 生活保護指定機関
- 介護保険取扱機関
- 特定疾患取扱機関
- 結核予防法指定機関
- 自立支援医療機関
- 身体障害者認定医
- 各種健康診断
- 小中台小学校校医
- 栄養医学(分子整合医学)



(携帯サイトへ)